

梅窓院通信

十夜号

No.85

2016/10/01

青山

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成

はやいものでもう十月、今年も残すところあと二カ月となりました。

さて、この八月末に傳通院、祐天寺、梅窓院の三カ寺団体参拝でニュージーランドに行ってきました。梅窓院からはお檀家さんにもご参加いただき、誠にありがとうございました。

ニュージーランドが傳通院のある文京区と友好関係を結んでいることから、傳通院運営の淑徳S.C(中・高等学校)の提携校の下見が目的のひとつ、そし

て平成二十三年三月の東日本大震災の前月、二月二十二日に起きたクライストチャーチ地震で犠牲となられた日本人二十八名の供養が訪問目的でした。

前号『青山』の取材で岩手県大槌町を訪れ、五年経ってようやく復興が始まる状況を目の当たりにしましたが、クライストチャーチも同様で、日本人留学生が亡くなられた学校の跡地は更地のままで、片隅に置かれている供養の為の献花台で、参加した僧侶五名で読経して参りました。翌日からは大自然を楽しみました。翌日からはその大自然の営みのひとつが地震であることを噛みしめる団体参拝となりました。



クライストチャーチの日本人留学生が通っていた学校の跡地は更地となっていて、片隅には千羽鶴が供えられている献花台がある。



十夜法要

十二月十九日(土)

十夜法要

午後四時

本堂

法話

法要終了後

本堂

講師 関崎 益男やくなん上人

法話終了後、十夜法要にご参列頂いた方に芋煮のふるまいをさせていただきます。
なお、芋煮会だけのご参加はご遠慮頂いております。



十夜回向に関するお知らせ

十夜法要に關しましては、昨年より「短冊回向」を取りやめ、塔婆の申込ハガキに「回向のみ」もご一緒にお申し込みができるようになりました。それぞれ異加料が異なりますのでご注意ください。また、塔婆、回向のみは「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますのでご了承下さい。

十夜じゅうやによせて

「お十夜」は、陰曆の十月六日から十五日までの十日十夜にわたって、念仏を唱え続けた法要で、その念仏の功德によって阿弥様の浄土、極楽に往生することを願うものです。その最終日の十月十五日が、法蔵菩薩ほうぞうぼさつが悟りを開いて、阿弥陀仏あみだぶつになった成道の日であるとも言われています。

さて、十夜会の由来は、浄土宗の根本經典である浄土三部經のむりようじゆきやう一つ『無量壽經』の「この世で十日十夜善いことをすれば、仏ぶつ国土こくどで千年善いことをしたことに勝る」という教えによります。そして、十夜は平安時代、白河天皇の頃に始まり、室町時代、京都にある天台宗の真正極樂寺しんじょうごくらくじ、通称真如堂にょどうで恒例行事となったと言われています。

その後、今春、梅窓院の団体参拝で訪れた鎌倉光明寺の第九世觀誓祐崇上人かんよゆうそうしやうにんが、後土御門天皇に招かれ、宮中で、『阿弥陀あみだ經きやう』の講義をされるとともに、真如堂の僧侶と一緒に引声念仏を修したことで、天皇の勅許を得て、光明寺で十夜を行うことになりました。そして、光明寺の最大の年中行事となった十夜法要は全国の浄土宗寺



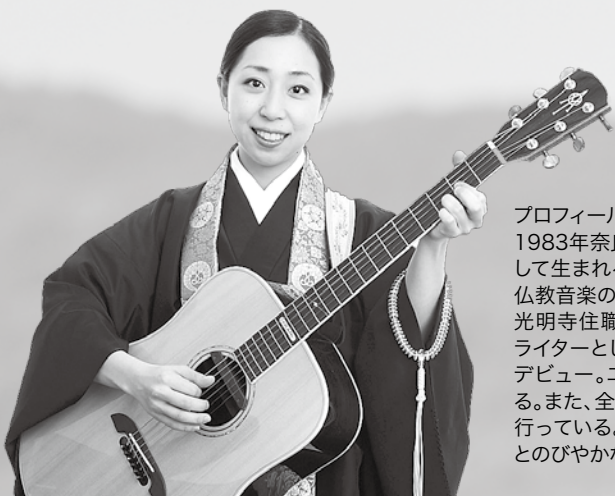
昨年さいしんの十夜法要で法話をされた北山彩心上人。



昨年さいしんの十夜法要の様子。

三浦明利 特別ライブ

今年ことしは三浦明利さんの特別ライブを法話終了後、観音堂にて開催します!



プロフィール

1983年奈良県吉野郡の光明寺に一人娘として生まれる。ポピュラリティーを追求した仏教音楽の制作・演奏活動を行う。2008年光明寺住職就任。2011年シンガーソングライターとしてCD「ありがとう」でメジャーデビュー。エッセイストとしても活動している。また、全国各地で、演奏を交えた講演を行っている。ギターやピアノによる弾き語りとのびやかな歌声で仏教の心を説く。

塔婆回向一霊 七千円
回向のみ一霊 三千円

●お申し込み方法

同封ハガキにご記入の上、十一月十日必着でお申し込み下さい。

ハガキの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払い方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニでのお支払いはできません。

ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

院にも広まっていきました。

このように、十夜は浄土宗のお寺や檀信徒さんにとって大切な行事ですので、まずは、当院のお十夜念仏の日の「一日一善」から心掛けて、やがては、悪を止めて善を修めるという「止悪修善しあくしゆぜん」、「一生積善いっしょうせきぜん」という念仏人生を目指したいものです。そして、念仏が私たちの日々の生活のよりどころと定められるようになればいいですね。

ぬすみせず 殺さぬを よきにして

われ罪なしと 思うはかなき

(徳本行者とくほんぎやうじや)

また、「十夜」という言葉は俳句の季語になっていますが、これは五穀豊穰に感謝する秋祭りにもつながる行事だからです。

梅窓院では十一月、第三土曜日に十夜法要を行います。そして法要後には「芋煮会」をして、みんなで収穫に感謝する行事にもなっています。

ご家族揃ってのご参加を、お待ちしております。

(法務部・関崎)

日本エキスパートシステム 墓苑事業部より

この『青山』が皆様のお手元に届く頃、私共は年賀状の準備やカレンダーの発送準備をしております。一年の終わりを感ずる季節です。

さて、先日数百年前に梅窓院より岐阜に改葬された方が過去帳をお持ちになって来寺されました。梅窓院にある「墓石簿」と過去帳に記入されている内容が一致していたときは数百年前に戻ったようで、ドキッといたしました。当時のご住職が授けられたお戒名、没年月日、享年等々が記載されていました。その方は青山のお殿様と一緒に江戸を後にして郡上八幡に移られたそうですが、こうしてお墓を守っていくことが代々なのだ……、とつくづく感じた次第です。こうした歴史ある梅窓院を皆様にご紹介する事に携わっていただけることに感謝しております。皆様のお知り合い等でお墓を探している方がいらしたらぜひ、ご紹介下さい。この梅窓院で一緒に歴史を作り始めませんか。

余談：その方は今も岐阜にお墓をお持ちですが、青山のお殿様のお墓が今も梅窓院にあると知って大変驚かれておられました。



梅窓院の墓苑にある青山家の墓所。

お檀家さんに伺いました

平成28年 開山忌法要にて

「能には興味がありました」

『青山』を見て、今回初めて開山忌法要・能楽奉納に参拝しました。

亡くなりました父が昔、謡曲をやっておりましたので、能には以前から興味がありましたし、

普段は触れる機会の無いお能を見られて大変良かったです。

秋の文化講演会にはよく出席しています。梅窓院の行事や催物には、できるだけ参加したいと思っています。

平成28年 盂蘭盆会法要にて

「ご先祖様を思い出す日です」

主人の塔婆と回向をお願いしており、本日は娘と一緒に参りました。

盂蘭盆会法要はご先祖様を思い出し、感謝の気持ちを新たにすること大切な行事だと感じています。

梅窓院は近代的なイメージでどの世代でも親しみやすいため、気軽に足を運べる素敵なお寺だと思いました。

活動報告

郡上市中学生港区交流活動

8月3日(水)

郡上市・港区の交流事業の一環として今年も郡上市の中学生の皆さんが梅窓院を訪れ、ご僧侶のお話を聞いたあと青山家のお墓参りをされました。



行事予定

■ 十夜法要 11月19日(土)

法要開始 午後4時～ 法要/法話/特別ライブ/芋煮会

■ M・ファン・デン・フックピアノリサイタル 11月26日(土)

開場 午後2時15分 開演 午後3時～ 祖師堂

冥加料 檀信徒 2,000円/一般 5,000円(先着 300名 お申し込み受付中!!)

オランダ五門大演奏 独奏

マルティン・ファン・デン・フック
ピアノリサイタル

今年は「ミューズと歌い踊り」と題しての演奏です。

プログラム表
1. ヴァグネル 交響曲第9番
2. ショパン 夜曲 作品9-2
3. ショパン 夜曲 作品9-18
4. ショパン 夜曲 作品9-3
5. ショパン 夜曲 作品9-12
6. ショパン 夜曲 作品9-15
7. ショパン 夜曲 作品9-16
8. ショパン 夜曲 作品9-17
9. ショパン 夜曲 作品9-19
10. ショパン 夜曲 作品9-20
11. ショパン 夜曲 作品9-21
12. ショパン 夜曲 作品9-22
13. ショパン 夜曲 作品9-23
14. ショパン 夜曲 作品9-24
15. ショパン 夜曲 作品9-25
16. ショパン 夜曲 作品9-26
17. ショパン 夜曲 作品9-27
18. ショパン 夜曲 作品9-28
19. ショパン 夜曲 作品9-29
20. ショパン 夜曲 作品9-30

2016年11月26日(土) 14:15 開場 15:00 開演
会場 梅窓院 祖師堂 冥加料 檀信徒 ¥2,000 / 一般 ¥5,000

発行/梅窓院
発行日/平成28年10月1日
発行人/中島 真成
編集/青山文化村
住所/〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話/03-3404-8447
FAX/03-3404-8436
ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp
題字/中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

【お問合せ】青山文化村 03(3404)8588 ※詳しくは前号同封のチラシをご覧ください。